



広報 なかわだ

第 389号

2012年 5月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2012年 5月 6日

5月の予定

教会委員会	5月 12日 (土)
主の昇天 信徒の会 例会	5月 20日 (日)
聖霊降臨の主日	
／子どもと共に捧げるミサ	5月 27日 (日)



Saint Felix of Cantalice (Peter Paul Rubens)

聖フェリクス修道者

主任司祭 小林 陽一



フェリクスは1515年、イタリアのウンブリア州カタリチオ村に生まれました。家が貧しかったので学校にも行けず、少年時代は家畜の番をし、青年になってからは、ある農家の雇い人として住み込みました。教理の研究をしたことはありませんでしたが、信心はきわめて篤く、大自然に接して、創造主である神を心から礼拝しました。カシの幹に十字架の形を刻み、その前で祈り、イエスのご受難を黙想していました。修道士の伝記を読んで感動し、山奥で生活し、思う存分祈りや苦行をしたいと考え、知人にそのことをもらしたところ、その知人は「その心がけさえあれば山に引きこもることはない。アシジの聖フランシスコの創立したカプチン修道院に入れればよい」と教えてくれました。

すぐにその言葉に従い、フェリクスはその修道院の門をたたいて入会を申し込みました。院長はフェリクスに本当の召し出しがあるのかどうか調査し、最後に血染めのイエスを張り付けた十字架像を見せて、「修道士になれば、この十字架にかけられたイエス・キリストのみあとに倣わなければなりません、それだけの覚悟がありますか」と尋ねました。フェリクスは「私は苦行以外のことは望みません。これは神様もよくご存知です」と答え、院長はフェリクスを修練者のグループに加えることにしました。

30歳で修練期を終えたフェリクスは、ローマに派遣され、そこで物もらいの役に任命され、この役目を42年間、死ぬまで続けました。フェリクスはローマ市内で日用品を集めて歩き回っている時、「怠け者」「こじき」と罵られることがよくありました。彼は柔和に「感謝 (デオ グラチアス)」と答えました。そして市民から「デオグラチアス修道士」とあだ名されました。

施しの一部をフェリクスは貧しい人々に届け、品物を恵んで困っている人を助け、病人を見舞い、看護し、夜には修道院の聖堂の聖櫃の前にひざまづいて、罪人の回心のために祈りました。

ある日、フェリクスは、一人の弁護士を訪ねたとき、豪華な図書室を見せてもらいました。フェリクスはその弁護士に十字架という本を読むようにすすめました。「私の学ぶことのできた字は、赤い字が五つと、白い字が一つ、合わせて六つしかありません」と語ったということです。五つの赤い字は主の五つのおん傷を指し、一つの白い字は純潔な聖母マリアの信心に他なりません。

1587年5月17日、73歳でフェリクスはほほえみながら息絶えました。そこに居合わせた人が「何を見ているのですか」と尋ねると、「私はあなたが見ることが出来ないものを見ているのです」と答えて、間もなく息絶えたとのことです。



日	曜	典 礼	ミ サ ・ 勉 強 会	備 考
4	金		初金ミサ(10時)	掃除
5	土		主日ミサ(18時)	
6	日	復活節第5主日	主日ミサ(9時)	
12	土		主日ミサ(18時)	教会委員会(9:00)、掃除
13	日	復活節第6主日	主日ミサ(9時)	
14	月	聖マチャヤ使徒祝日	祝日ミサ(10時)	
19	土			掃除
20	日	主の昇天	祭日ミサ(9時)	
26	土			掃除
27	日	聖霊降臨の主日	子どもと共に捧げるミサ(9時)	聖堂清掃(C,D)、サロン

初聖体、おめでとうございます！！（4月8日）

我が子の初聖体を終えて

4月8日、ご復活際の喜ばしい日にわが森脇家の三女恵美は、小林神父様をはじめ、中和田教会の皆様の温かいまなざしのもと、無事に初聖体のお恵みにあずかることができました。今ほとにかく皆様へ感謝の気持ちで一杯です。どうもありがとうございました。

思い起こせば、今年一月半ばの勉強を始める前は、恵美の中で神様の存在はぼやっとしたもやのようなもの、ミサは訳のわからない儀式だったと思います。それが神父様の掲げた白くて丸いパンが神様の”からだ”で、その”からだ”をいただくということは、神様が自分の中に入っていくとっても不思議ですばらしいことだとわかったこと、夜眠る前に神様とおしゃべりする（お祈りのこと）と心が落ち着くということ、主の祈りを覚えたこと、ゆるしの秘跡の意味、、、いろいろなことを知っていくことで恵美の中で神様の存在がよりはっきりとした形になってきたように感じます。そして一緒に学んだみづきちゃん、かなこちゃんとともに仲良しになれたことも神様からの一つのお恵みだと思います。

まだまだ未熟な恵美ですが、これからもあたたかく見守っていただけると幸いです。これからもどうぞよろしく願います。
(森脇 彰子)

初聖体のお祝い

石井光(みず)希(き)さん、森脇恵美さん、大葎原叶子(かなこ)さん、また、お父さんお母さん方、初聖体おめでとうございます。

皆さんは長い間勉強し、よく準備されて神様から素晴らしいお恵みを頂かれました。

今、丁度桜も満開となりこれから若葉の季節となりますが、皆さんは教会という樹の小さな若葉として今日生まれました。

神様と教会の先輩達に見守られスクスクと成長され、大きな大きな樹となって下さい。

最後となりましたが、御三人をご指導頂いた要理学校の先生方、大変有難うございました。信徒を代表して厚く御礼申し上げます。

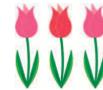
(教会委員長 上野 厚)

主の平和

初聖体、無事に授かる事ができました。これからまだまだ未熟ですが、よろしく願います。

(石井伸雄)

ありがとうございました。
これからがんばります。
(みづき)



4月8日に初聖体をうけました。わたしはすごくドキドキしたけど、がんばりました。たのしみだったのが、ごせいたいとぶどうしゅとプレゼントです。はじめてだったので、もらったときは、うれしくてうれしくてたまらなかったです。

前日(4月7日)は「やりたくないな」とおもっていたけど、じっさいにやってみたら「たのしいな」とおもいはじめました。なので、こういうのがたのしみ(すき)になりました。はつせいたいたのしかったです。

(恵美)



バザーについてのお願い

今年のバザーについて、地区代表で話し合いをして、次のように決めましたので、ご協力下さいますようお願いいたします。

- (1) 例年通りに日用雑貨と手作り品のご提供をお願いします。手作り品は、お一人2点以上とさせていただきます。
- (2) 不用衣料品を取扱います。(4月からダンボールを置きます)
- (3) バザーに向けて、製品作製のための奉仕日を設けます。多くのみなさまのご参加をお願いいたします。
(4月から月に2回、第1・第3火曜日、10時～15時まで)



(バザー委員会)

『信徒の会』4月度例会より(4月15日)

出席者はいろいろな事由で10名と少なかったのですが、下記のテーマについて分ち合いを行いました。

(1) “ゆるしの秘跡”について

3月18日の共同回心式の出席者が少なかった事実をを基点として、その要因などについていろいろな議論が交わされましたが、その過程で以下の内容が浮かび上がって来ました。

加えて、「あれほど素晴らしい指導司祭の講話を、大勢の信徒が聴かなかったことはまことに残念である」(上野委員長)との指摘もあり、本件は信徒全員が考えねばならない大きな課題です。

- ・信徒歴が長いベテラン信徒であっても、受洗当時受けた指導や環境によって、「ゆるしの秘跡」に関する認識は必ずしも一致していないようである(「形」と「中身」の両方で)、
- ・「ゆるしの秘跡」は、もともと信徒間で闊達に話題にする性格のものではないので、個々人固有の理解のままで現在に至っている場合が多い、
- ・『昔の告解』と『今のゆるしの秘跡』とで、本質的に違う点は何なのか?」「第2バチカン公会議の前後で、何が変わったのか?」というような基本的な問いに対するすっきりした答えが見えていない、
- ・昔の告解スタイルと異なって、今は共同回心式という形で大勢で一括して行なっている教会が多い。必然的に、内容は「要点を纏めて、短時間に」という形にはめられていく、

要は、若い世代の参加云々の話が最近多いが、「ゆるしの秘跡」に関する限り、全ての世代で原点に立ち返り、理解の『軸』を合わせる必要があるのではないかという共通認識に至りました。

幸いに、現在は教区典礼委員会による「ゆるしの秘跡」という手引き書があり、これに沿った形で、小林神父様に上記の基本的問かけへの答えなど、いろいろ教えて頂く機会を例会で設定しようということになりました。(別途調整)

(2) 理科教材配布について

森脇さんが、毎年継続的に進めておられる「生きた教材(水の中の微生物、食虫植物、ウーパールーパー、カイコ、...)」の近隣学校(横浜・川崎の小・中・高)への配布/提供を本年も行うため、5月12日に理科教諭の皆さんをお招きする集いを新集会室で行なう旨のお話がありました。森脇さんのご尽力に感謝です。
(小野 雅彦)

<横浜天主堂献堂150周年記念>ミニ巡礼記

長期天気予報で雨が心配されていましたが、信徒の会で企画された4月17日の「ミニ巡礼」の日は、幸いに、晴天とはいきませんでしたが、一日中雨にも遭わず、神父様を加えて16名の巡礼団は、和やかに、心をつつにして、巡礼地を訪問しました。

最初の巡礼先は、1862年、パリ外国宣教会のジラル師によって献堂された天主堂跡に建つ「み心のイエス像」。その後、すぐ近くの中野街で昼食。ゆっくり1時間近く会食を楽しみ、バスで司教座聖堂である山手教会に向かいました。ちょうど記念行事の一環である聖堂建物の整備工事中で、うるさいほどのドリルの音がする中で、みんなで「天主堂献堂150周年の祈り」をいたしました。聖堂内には巡礼者向けに丁寧な説明が掲げられていました。

一同は、よい一日が与えられましたことを感謝しながら、無事帰途につきました。

(岩崎 好愛)



天主堂跡地



司教座聖堂

委員会だより

(文中敬省略)

△4月1日(日) 12名出席▽

小林神父の話

・3月18日共同回心式のミサ後の講話に残る人が半数以下になったことについて;

↓個人的な事情があつてのことで強制するわけにはいかない。

↓特に若い人の出席率が低い。最近の傾向として告解をしなくなつてきていることと関係があるのではないか。

以前、教会リーダー研修会で司教様から「ゆるしの秘跡」(横浜教区典礼委員会編 女子パウロ会 840円(税込))を使ってお話があつた。こういった本を読むよう勧めるのはどうか。

↓小林神父: 中学生の親に向けて告解(ゆるしの秘跡)を受けることの大切さを伝えるのは良いこと

・初聖体の手順

各グループからの報告

■財務(甲斐)

・6月3日(日) 13時30分〜 漆原隆一氏(元横浜雙葉学園校長) 企画のハンドベル・チャリティコンサートが開かれる。甲斐さんを通じて中和田教会を会場として使用することを希望されたので承諾し提供することとなった。机などの会場設定のお願いをした。案内資料は廊下に掲示。特に人員動員の要請はない。

・バザー用テント 新規購入の場合: 10万円程度(中和田カトリック教会と文字を入れて) ↓購入すれば救済活動に使うことも考えられる。簡易テント(約半分くらいの大ささ)であれば軽く設置も簡単に5万円程度レンタルの場合: 一張り9500円(運搬・設置は別途請求されるため1万5千円程度になると予想、三張

り借りれば約5万)

△今回の結論▽一度レンタルで試す。

ダスキンに交渉して福島さんに費用を確認してもらう。テントの費用はバザー収益金から賄う。

(他には自治会(広町)から借りる等の案もあつた。)

・聖堂改築費の残金200万を近いうちに支払う。

●宣教(井上、石井(悠))

井上:

・3月31日(土)、予定通り横浜天主堂巡礼決行。風雨がひどかったのでバスの中から天主堂跡を見てカトリック山手教会の地下で昼食を取った。中2人高2人、大人3人 計7人参加

・5月20日(日)のミニ運動会について詳細を決めた。

↓会場は片瀬教会のすぐそば。野外ミサを行う(神父未定、中和田は答唱詩篇担当 大人も楽しめるイベントを考えているので多めに参加してほしい。

・5月26日(土)、湘南キリスト教セミナー(藤沢教会) 参加を呼び掛ける

石井(悠):

・5月25日(金) 19時〜21時 泉区民クリスマス第一回実行委員会 宮の台幼稚園にて 井上さん出席予定

・5月は聖母マリアの月なので毎週主日のミサの前にロザリオの祈りを行いたい。

↓個人が任意で参加することにおいては問題ない。8時45分から一連のみを行う。

・藤沢教会での「聖書の分かち合い」1年間が終了した。(石井、中島)

●行事(中村)

・バザーは4人の地区代表中心で対応するが、大宮(絢)さんが窓口になった。バザー 不用衣料品が集まっているので主に夏物を中心に5月ごろミニバザーをしたい。新集會室にて(売れないものについては福祉が引き取る)

・バザー奉仕日を設ける。第1、第3火曜日(10時〜15時)を活動日とする(責任者:松尾さん)

●要理(本庄)

・4月8日 初聖体

●営繕/建物(福島)

・3月24日、消防用器具、設備等の点検完了、費用1万8千円程度

・4月7日 大そうじ(地区によって範囲を決める) ↓応接間、集會室、新集會室、事務室、窓

●福祉(中島)

・バザー残品の売上3千円、愛の献金等を合わせて4万円を仙台教区に送ることになった。(今後福祉の活動の場合は募金箱に福祉と明記する)

・ホームレス支援の活動に協力してお肉(武田さんから寄付)とお米を戸塚教会に届ける。ホームレスの方には年2回、お肉入りカレーが復活際とクリスマスにふるまわれる。

●総務(岩淵)

・横浜教区・難民移住移動者委員会から非正規滞在者の正規化を求める署名依頼について。

小林神父様から説明があり中和田教会

に署名依頼が来ているので総務からお知らせして署名をお願いしてほしい。

↓署名はあくまでも個人の判断でして頂く。信仰の門 30部購入、各委員に配布、その他は希望者が購入。追加購入も可能

●広報(今井) 原稿依頼

●信徒の会(小野)

・4月17日横浜天主堂献堂一五〇周年記念ミニ巡礼は現時点で15名参加申し込みがあるので実施する。

・サロンの運営はお手伝いの方の負担が大きいのので将来的にはインスタントコーヒーによる対応を考えている

■討議事項 祭壇の生花について

・生花担当から生花を祭壇中央に置かせて欲しいと要望があつた。

小林神父: 主任司祭としては生花が供えられることが好ましく、特にどこに置くかという決まりはない。交わりの教会として皆が話し合つて決めることが望ましい。

↓生花担当の要望を受け委員会として祭壇中央に置くこととした。

■5月スケジュール確認

(今回は5月12日)

《お知らせ》

是非、ご出席下さい!

ともに生きるよろこび

闇に光を

マザー・テレサの生涯に学ぶ



かたやなぎ ひろし

講師 片柳 弘史 (イエズス会 司祭)

【日時】2012年5月26日(土)14:00~16:00

【場所】カトリック藤沢教会 参加費 300円 定員30名

※ 参加申込書は、
聖堂後方のテーブルにあります